

# わかさ



目も脳も若返る！  
眼力アップドリル

5  
530円

# 目が驚くほど 最新 ベスト療法



近視・老眼が急回復し白内障眼科医開発アイネック体操初公開  
疲れ目・ドライアイが軽度でも重度でもスツ「目頭刺激温冷パック」  
白内障の目のかすみ消えた！緑内障の消えた！高い眼圧が大反響のアワビの粉末

別冊付録  
体が喜ぶ！イチ押し逸品  
お取り寄せガイド

更年期子宮・卵巣のトラブル今一番の撃退術

冷え・生理痛にひざしばり、更年期障害にプラセンタ、子宮筋腫に新サプリが一番  
入れ歯の悩みがスバリ解決し  
No.1 事典

痛まずよくかめてはずれない！見た目も自然な新型の入れ歯を続々と発見  
シミシワも下腹太り・O脚も  
0円エステ新発見



# 副作用がほぼなく眼圧を下げる 効果は長期間続く緑内障の画期的な「新型レーザー治療」が注目

むらかみ眼科クリニック院長  
むらかみしげき  
村上茂樹

## 従来のレーザー治療には問題点が多い

緑内障は、眼球の中を満たしている液体（房水）の流れが滞り、その人が耐えうる以上の眼球の内圧（眼圧）によって視神経が障害されるために起こる病気です。緑内障は、厳密には房水の滞り方によって、開放隅角型の緑内障と閉塞隅角型の緑内障の二つに大別できます。

開放隅角型の緑内障では、房水の排出口でフィルターの役目をしている線維柱帯（網目状の組織）が目づまりして房水の流れが滞ります。緑内障の患者さんの過半数を占める正常眼圧緑内障（眼圧が正常範囲内でも視神経が障害される緑内障）は、このタイプの緑内障に分類されます。

角）が狭くなり、房水の排出口がふさがれて目の外に流れ出なくなり、緑内障の進行を食い止めるためには、何よりもまず眼圧を下げる治療を受ける必要があります。一般的には、点眼薬による治療が行われます。実際、緑内障の治療中の患者さんの約八割は、手術を受けずに点眼薬の治療のみで眼圧のコントロールが可能であることがわかっています。

とはいえ、点眼薬の治療には注意すべき点もあります。例えば、点眼薬の効果を高めるためには、点眼後五分以上、目を閉じて目を軽く押さえていなければならぬなど、やや手間のかかる点眼法が求められるため、患者さんの負担が少なくなっています。また、仕事が忙しい、手や腕にマヒがある、認知症（ボケ）傾向にあるといった人には、点眼薬の治療の実施が難しい場合もあります。さら

に、点眼薬においても、ぜんそく発作を誘発したり、不整脈や低血圧を起こしたりするなど、特に心肺の病気のある患者さんには副作用が起こりやすい難点もあります。緑内障は、治療が長く続くものなので、これは重要な問題です。

そこで、点眼薬のみでは十分な治療効果が得られないときに

行われるのが、レーザー治療です。開放隅角型の緑内障では、従来からアルゴンレーザー線維柱帯形成術（以下、ALT）が行われていました。これは、アルゴンレーザーというレーザー光を当てて線維柱帯の目づまりを取り、房水の流れを改善して眼圧を下げる治療法です。

しかし、ALTは強めのエネルギーのレーザーを当てるため、線維柱帯の組織が一部障害されたり、一時的な眼圧上昇が引き起こされたりすることがあります。また、効果は徐々に弱まっていくものの、この治療は何度も行いくにくい、という問題

## 新型レーザー治療を行う主な病医院

病医院名	所在地	電話番号
千歳市立病院	北海道千歳市	0123-24-3000
岩手医科大学附属病院	岩手県盛岡市	019-651-5111
山形大学附属病院	山形県山形市	023-633-1122
慶應義塾大学病院	東京都新宿区	03-3353-1211
東京医科大学病院	東京都新宿区	03-3342-6111
新潟大学医歯学総合病院	新潟市中央区	025-223-6161
富山大学附属病院	富山県富山市	076-434-2281
金沢医科大学病院	石川県河北郡	076-286-3511
大阪厚生年金病院	大阪市福島区	06-6441-5451
大阪市立大学附属病院	大阪市阿倍野区	06-6645-2121
愛媛大学附属病院	愛媛県東温市	089-964-5111
松山市民病院	愛媛県松山市	089-943-1151
しもわけ眼科	愛媛県松山市	089-972-8008
九州大学病院	福岡市東区	092-641-1151
久留米大学病院	福岡県久留米市	0942-35-3311
吉田眼科医院	福岡県筑後市	0942-54-1888
森眼科医院	長崎県諫早市	0957-22-5658
宮田眼科病院	宮崎県都城市	0986-22-1441
むらかみ眼科クリニック	熊本県宇土市	0964-22-6600

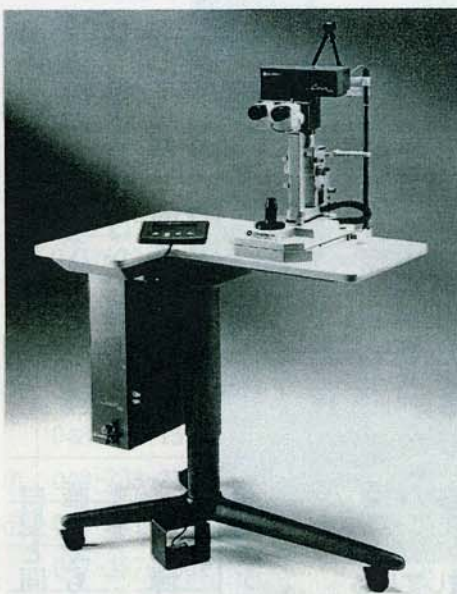
▲リストに掲載した以外にも新型レーザー治療を行う病医院はあります。



## ◆新型レーザー治療(SLT)とは◆

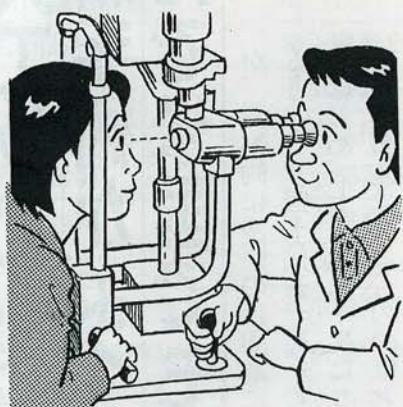
Nd-ヤグレーザーという特殊なレーザーを用い、従来の6000分の1という超低エネルギー密度のレーザーで治療する方法。このレーザーは線維柱帯の目づまりの原因になるメラニン顆粒にのみ吸収されるため、ほかの正常な細胞を傷つけずに房水の流れをスムーズにして眼圧を下げる。

(右の写真は、SLTに使われるレーザー治療機器)



### 新型レーザー治療の利点

- ・副作用や合併症の心配がない。
- ・効果が一定期間持続するとともに、くり返し再照射できる。
- ・外来治療で行え、治療はわずか数分で終わり、痛みもない。



### ▲正常な細胞に悪影響を与えず治療できる

点もありました。

こうした中、ALTTの問題点を解決した選択的レーザー線維柱帯形成術(以下、SLT)という新型レーザー治療が開発され、注目を集めています。

SLTでは、Nd-ヤグレー

ザーという特殊なレーザーが用いられ、従来のアルゴンレーザーの六〇〇〇分の一という超低エネルギー密度のレーザーで治療できます。この超低エネルギーのレーザーは線維柱帯の目づまりの原因になるメラニン顆粒(色素細胞)にのみ吸収されるため、ほかの正常な細胞を傷つけずに房水の流れをスムーズに

して、眼圧を下げられるので

SLTでは、正常な細胞に悪影響を及ぼさないで、従来のALTTとは違って副作用や合併症を起こす心配がありません。しかも、効果が一定期間持続するとともに、くり返し再照射することもできます。

さらに、SLTの治療は外来治療で行え、わずか数分で終わり、患者さんの痛みも全くありません。

なお、SLTは健康保険が適用されており、一回につき九一〇〇円程度(自己負担は一割)の費用負担で行えます。

### ▲正常眼圧緑内障にも有効例が多い

現在、SLTは実施例の七割程度に有効性が認められており、眼圧低下率も、二〇〜三〇%と報告されています。この眼圧低下率は、日本で使用している点眼薬のうちでも、最も眼圧下降の強力なものと同程度の効果です。

そして、SLTは正常眼圧緑内障にも有効例が多いことも判明しています。正常眼圧緑内障では、夜間に眼圧が上昇するた

めに眼圧の上昇が発見できない場合が少なくないのですが、SLTを行えば夜間の眼圧上昇が抑えられるのです。

ただし、SLTは閉塞隅角型の緑内障の治療には用いられません。閉塞隅角型の緑内障では、特殊なレーザーで虹彩に小さな穴を開けて房水の流れをよくする「レーザー虹彩切開術」という治療法が行われます。

また、SLTはブドウ膜炎などによる続発性緑内障(眼内の炎症に合併して起こる緑内障)には適用されません。さらに、すでに病状が進んで眼圧が非常に高い場合には、眼圧を下げる手術を行うしかありません。

このような新しい治療法の恩恵にあずかるためにも、緑内障は、早期発見・早期治療が何より大切です。しかしながら、高齢の人は目がかすんでも見えにくくなるまで我慢し、老眼や白内障だと誤った自己診断をして完全に手遅れの状態になってから来院されるケースがいまだに少なくありません。緑内障による視覚障害を防ぐためにも、少しでも目に異変を感じたら早めに眼科専門医を受診するようにしてください。